

自然素材＋性能

自然素材と高気密・高断熱の融合で一年を通して快適な住み心地を実現



一年を通してさらりとした足触りの無垢床(左)。塗壁特有の柔らかな質感や職人の塗り方による味であたたかみを出す(右)

人は1日に20キロもの空気を呼吸として体内に取り入れており、家にとんな素材を使うかで空気環境は大きく左右されると「藤原建設」では考えている。住む人の健康や安全性、快適性を考え、同社がすすめているのが「自然素材」だ。同社では内装に無垢材をふんだんに使用。無垢床や板張り天井にすることで、木の香りに癒される心地よい空間を提供している。また、壁や天井には北海道稚内産の「メソポア珪藻土」を採用。メソポア珪藻土に、つなぎ材となる食用でんぷんのり、ひび割れを防止するセルロースファイバー（木質繊維が原料）、白土（火山灰）を独自配合して使っている。他の珪藻土と比べ3〜6倍の吸放湿性能を持ち、梅雨は湿気を吸収、冬は放出して過乾燥を防ぐなど湿度をコントロールすることで暑さ寒さを和らげてくれるので、冷暖房の使用量が減り、省エネにもつながる。

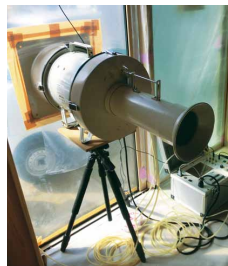
point 1
自然素材の力で
快適な空間に



部屋間の温度差が少ないため、急激な温度差が原因となるヒートショックなどの健康リスクも防げる

高気密・高断熱により、夏は涼しく冬は暖かい家を実現。部屋ごとの室温差が少なく、一年を通して快適に過ごせて、エアコンなどの光熱費も削減できる。

point 3
高気密・高断熱で
夏涼しく冬暖かく



気密測定の様子。隙間をできるだけなくし、換気をコントロールすることで、快適な室内環境に

快適な室内環境を実現するために欠かせない「気密性能」。同社では全棟で工事の中間時・完了時の2回、気密測定を行っている。気密性能を表すC値は0.90以下を自社基準値と定めており、近年の施工における平均C値は0.50。優れた気密性能は職人の丁寧な施工と技術力の証だ。

point 2
気密測定を
全棟で実施